

(国 語) 科における令和元年度授業改善推進プランの検証

<p>取り組みにおける成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3年生においては、話す、聞く能力の向上が見られた。意識して人の話を聞くこと生徒同士は発表などを通してお互いの意見を聞き合うことの成果だと考えられる。 ・ 3年生において漢字の読み書きの能力の向上がみられた、漢字小テストや語彙を増やす取り組みを行ってきたことの成果が上がっている。また文法問題の正答率も上がっている。2年生はまだ漢字の読み書きの能力の向上にまで至っていないが、地道な取り組みを続ける必要がある。 ・ 2年生は指定された文字数で課題に沿って作文を書く能力が向上している。3年生の記述の力は向上している部分と伸びていない部分がありいろいろな文章を書かせる経験が必要であろう。
--

(国 語) 科における調査結果の分析

<p>領域別結果の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率においてはどの学年もどの領域についても目的値を上回ることができた。 ○話すこと聞くことについては特に2, 3年生が大きく目標値を上回っている。1学年では話の内容を正確に聞き取ることができるとい問題が目標値を下回っている。 ○1, 2学年は伝統的な言語文化と国語の特質に関する問題が、目標値は上回るものの全国平均より下回る水準の結果となった。3年生は目標正答率、全国平均正答率ともにそれ以上の得点をとることができた。
<p>観点別結果の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3学年はどの観点においても、目標値を上回った。しかしどの観点においても、全国平均正答率に達してはいない。 ○1学年はどの観点についても目標値は上回った。特に書く能力、読む能力に関しては全国の正答率も超えている。 ○2学年はどの観点もほぼ目標値や全国の正答率を超えているが「言語に対する知識・理解・技能」の観点が目標値を下回る。 ○1年生も「言語についての知識・理解・技能」は目標値を超えてはいるものの全国の正答率を超えてはいない。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な読解のスキルを向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> →文学作品を読む際に押さえる、場面展開や登場人物の心情をとらえる力をつかむために文中の行動描写や情景描写など細かい表現にも注意を払わせる。説明的文章を読む際に把握する中心文の理解を、新聞やワークシートなどを活用して普段から練習させる。また、教科書の教材に関連した別の文章にも触れる機会を増やして、学習した内容の定着を図る。 2 漢字の読み、語彙力を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> →日常的に漢字の学習を取り入れ、プリントを使って家庭や学校で繰り返し練習させたり、授業で小テストを行ったりして、漢字を書く力をつけさせる。また、さまざまな学習活動の中で表記について適宜指導する。 3 話すこと聞くことを意識させる。 <ul style="list-style-type: none"> →日頃から全体と部分に注意し、集中して話を聞く態度を養う。

(国 語) 科の授業改善策

- 授業での教師の発言やお互いの生徒同士の発言を大切にする。聞く習慣を養う。
- 説明的文章を読む力をつけるために、新聞や教科書の教材に関連した別の文章を読むなどいろいろな文章に触れる機会を作り、ワークシートなどを活用して情報を取捨選択する力を身につけさせる。
- 書く力をつけるために、作文のガイドラインや構想を練る練習をさせるとともに、相手や目的、意図に応じた短作文を論理的に構成させる。
- 漢字の読み書きや語彙力をつけるために国語辞典、漢和辞典の積極的な活用、定期的な小テストの実施を心がける。